

授業改善推進プラン〈音楽〉

音楽における昨年度授業改善推進プランの検証

成 果	課 題
<p>〈知識及び技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に音楽活動に取り組み、表現能力を高めようとしている児童が多くいる。 ○歌唱活動では、友達の歌声を聴き、音程やフレーズを意識しながら歌っている。 ○合奏では、友達と演奏を聴き合っただけでなく、互いに演奏技能を高め合っている。 <p>〈思考力、判断力、表現力等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○曲にふさわしい曲想を考え、友達と意見を共有してより良い音楽表現を選び、表現しようとする児童が多くいる。 <p>〈学びに向かう力、人間性等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音楽に関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる児童が多くいる。 ○歌唱では、楽譜の強弱記号を読み取ったり、友達の意見を取り入れたりしながら、自分の歌い方に生かそうとしている。 ○器楽の活動では、友達の演奏している音を聴きながら、合わせて演奏しようとしている。 ○鑑賞では、楽曲の特徴や構成に気を付けながら音楽を聴こうとしている。 	<p>〈知識及び技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●歌唱活動において、男子の声変わりによる音程感覚の調整がうまくいかないことや、自分の声を友達に聞かれるのが恥ずかしいため、自信をもって歌えない児童がいる。 ●コロナ禍の影響からリコーダーの練習時間が十分に取れていないため、指使いに不安を感じている。 <p>〈思考力、判断力、表現力等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自分の考えはあっても声に出して主張することが不得意な児童がいる。 <p>〈学びに向かう力、人間性等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自分の考えを発言する児童が特定されてしまい、その他の児童はあまり授業に参加できていない。 ●創作活動において、友達と話し合いながら一つの音楽を作ることが難しく、参加できない児童がいる。 ●鑑賞をして感じたことや考えたことをうまく言葉にすることができない。

〈具体的な授業改善策〉

<p>〈知識及び技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アカペラや少人数で歌う機会を増やし、恥ずかしさよりも自然にのびのびと歌う楽しさを実感できるようにする。 ○リコーダーを実際に吹くことは難しいが、指使いの練習を常時取り入れ、リコーダーを使うことに慣れさせる。 <p>〈思考力、判断力、表現力等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○友達の発言した意見に対し、同じ意見である児童を挙手させるなど、気軽に意見が発信できる機会を作る。 <p>〈学びに向かう力、人間性等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ペア活動を取り入れてから全体での活動を行うことで、自信をもって発言できるようにし、全員が授業に参加できるように工夫する。 ○自分が創作した音楽を発表できる機会を作り、表現することの楽しさを味わわせる。 ○鑑賞の際に語彙を増やせるように、教員側からも言葉の例を示して、子供たちが感じたことや考えたことを表現しやすいようにする。
